

金山町 議会だより

第197号

平成29年5月16日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



電源開発(株)東日本の山田支店長に要望書を手渡す五ノ井議長。
3月24日 東日本支店（埼玉県川越市）にて（18ページに関連記事）

〔3月定例会のあらまし 会期／3月10日～16日〕

(ページ)

3月定例会 平成29年度当初予算を可決 2～5

議案等審議結果一覧、意見書、人事、要望活動 ... 6～9

一般質問に8人登壇 10～17

前年比 1 億4,638万円(4.8%)減

68万円を可決

3月 定例会



▲「全員賛成」で採決（起立）した平成29年度一般会計予算

3月定例会は、3月10日から16日にかけて開催され、平成29年度当初予算など30議案と、報告1件、議員提出議案3件が提案され原案どおり可決されました。平成29年度一般会計予算は、歳入歳出とも28億7668万円で、前年度比1億4638万円の減となっています。川口駅前線改良事業など5事業については引き続き協議をすることになりました。一般質問には8人の議員が登壇し、町政をたどしました。

一般会計の概要

大型事業の減少 災害基金事業終了

平成29年度一般会計当初予算は28億7668万円で、前年度と比較して1億4638万円(4.8%)の減となっています。減額の主な要因は、せせらぎ荘改築事業などの大型公共事業の減少や豪雨災害に係る被災者支援事業の終了によるものです。

固定資産税の減 地方交付税の増

前年度と比べ、町税は、大規模償却資産に係る固定資産税等が減少したため575万円の減。発電事業者の設備更新が一段落したためと思われます。地方交付税は、全国的には減

少傾向ですが、28年度の実績から9400万円の増額予算となりました。国庫支出金は、事業が減ったために5936万円の減。県支出金は、緊急雇用創出事業基金事業等がなくなったために4827万円の減になりました。

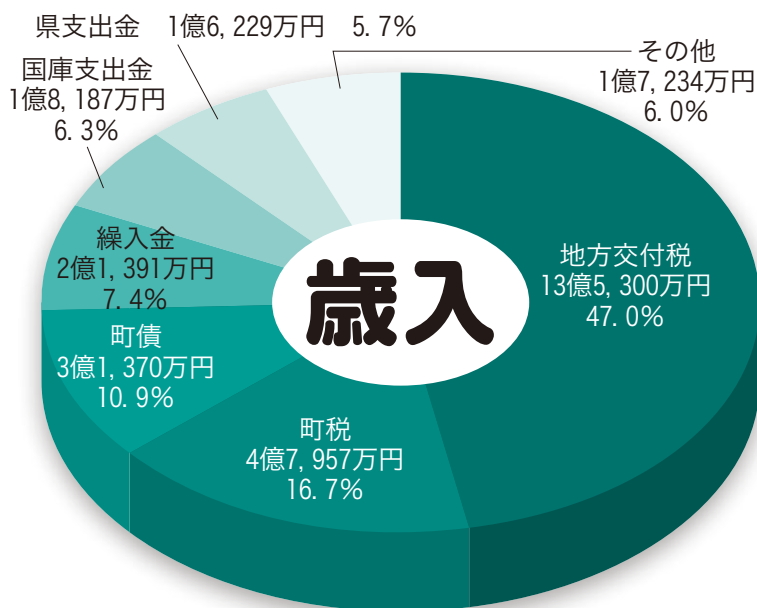
大塩グラウンド整備 5700万円

歳出の内、投資的的事业は、大塩グラウンド整備57

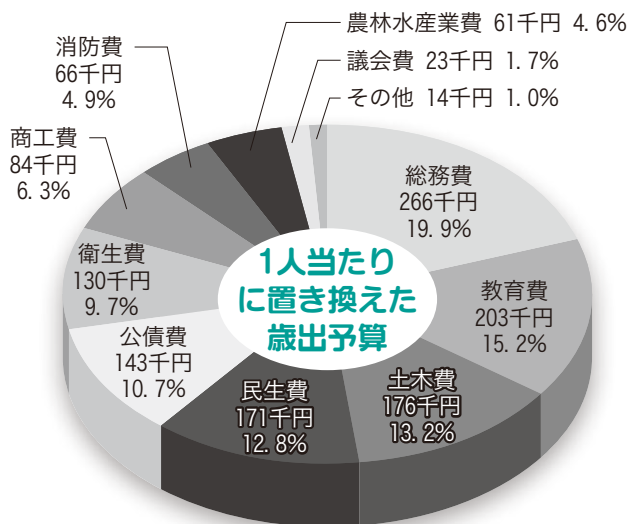
事業凍結

00万円等です(主な投資的事業参照)。その他として川口高校存続事業に1億183万円等があります。

川口駅前線改良事業や空家対策事業については、議会との協議が整い次第実行に移されます。

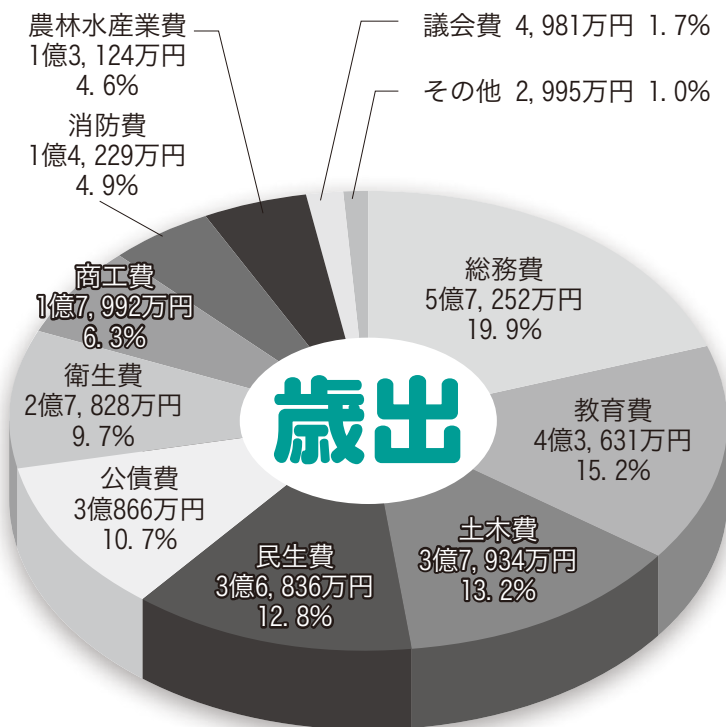


町民1人当たり 1,337千円の予算 (一般会計)



平成29年4月1日現在
(外国人含む) 2,151人

平成29年度一般会計 28億7,6



主な投資的事業

事業名	事業費
大塩総合グラウンド整備事業	5,700万円
除雪機購入事業	2,200万円
スクールバス購入事業	1,800万円
スキー場リフト整備事業	1,000万円
川口駅前線改良事業(※)	6,000万円
空家除却事業(※)	500万円
準町営住宅整備事業(※)	3,789万円
高齢者共同住宅整備事業(※)	2,225万円
体験交流施設整備事業(※)	400万円

(※)：議会と十分な協議を経て実行に移される事業

平成29年度特別会計予算(当初)

特別会計名	平成29年度 当初予算	前年度比 増減額
国民健康保険事業(医療費等)	3億8,714万円	△3,767万円
国民健康保険施設(診療所運営)	1億7,439万円	3,496万円
介護保険	5億6,362万円	5,281万円
後期高齢者医療	4,787万円	158万円
町営バス事業	3,789万円	2,102万円
簡易水道事業	2億5,606万円	△581万円
農業集落排水事業(田沢地区)	434万円	△15万円
特定地域生活排水処理事業(合併処理浄化槽)	1億3,601万円	△4,082万円
特定環境保全公共下水道事業(川口地区公共下水道事業)	4,000万円	282万円

財源補てん的な基金の残額

※平成28年度末(見込み)

- ① 財政調整基金 11億1,261万円
- ② 公共施設整備基金 3億7,682万円
- ③ 電源立地地域対策交付金維持補修基金 13億6,800万円

当初予算（議案審議）

地方交付税 増加の根拠は

問 地方交付税が9400万円増額している。積算根拠は。

答 総務課長 県からの基本的な数値等を算入し、それにより得た数字がまず基礎になります。総体的な28年度の実績を踏まえ、29年度の額を計上している内容です。

滞納額 1445万円

問 個人町民税、固定資産税、滞納繰越分、5年以上経過した繰越金の額は。

答 住民課長 個人町民税は26万円。固定資産税は約1445万円です。

問 ぜひタイムリーな徴収体制をとっていただきたい。その辺の計画等があったら教えてください。

答 住民課長 分納誓約

書の履行の徹底を図って、少しでも滞納の減少につなげていきたいと思っています。また、固定資産税については、滞納の解消に、より重点を置いて取り組んでいきたい。

集落・地域の 磨きをかける

問 地域の魅力向上応援事業、詳しい内容は。

答 復興政策課長 町の観光資源とか、歴史文化

の資源とか、そういったものの磨きをかける集落、地域づくりの団体へ支援するものです。

人間ドック 対象者を広げる

問 人間ドック、何人ぐらい想定されているのか。

答 住民課長 対象者は40歳から75歳までの方で40名を想定しています。今年度からは国保会計（国保加入者のみでなく、一般会計で対応するというところで、一部社会保険の方も対象にします。今年度からは日帰りドックのみに対する助成になります。

沼沢湖周辺 遊歩道整備

問 遊歩道設置130万円。場所と工事の内容は。

答 産業課総括主幹 沼沢湖周辺、荒浜から妖精美術館に向かう遊歩道の整備です。28年度、一部遊歩道の整備を行いました。



▶魅力向上応援事業で整備した案内看板



▶荒浜（沼沢湖）から美術館へ通じる遊歩道

た。妖精美術館に向かつてさらに延長します。

問 とにかく造ったときだけ、きれいなのは。そして、1年たったら草ぼうぼう、造ったところは荒れ放題。毎日毎日でなくても、1年に二、三回は造ったところは責任持ってやっていたら、こんなにお金はいらないと思うが。

答 産業課総括主幹 遊歩道の設置後、管理が十分でないことが度々見受けられるということです。

が、きれいなまちづくり、町景観整備事業等で予算化しながら、整備した施設、遊歩道を含め、管理については今後やっていきます。

30年度に 加工所整備

問 加工場の調査設計費500万円。どの辺まで調査した中で設置について考えているのか。

答 産業課総括主幹 30年度の整備に向けてどのような形で整備していくか、どのような施設整備になるかという調査をしてきました。ある程度、青図面までは完成しました。今後については、保健所等と施設基準を満たすか検討しながら、建屋の部分をごんない形で整備するか、経費を抑えて整備できるか等について協議しながら、最終的には実施設計書まで組み上げ、30年度の整備

備に向けた事業費をつかみたいと考えています。

フリーズドライ いっぱい利用して 6次化支援

問 農産物の6次化の支援事業、27万円の補助がある。6次化の支援については、町民ひとしく、大変興味のある内容だと思います。中身を教えてください。

答 産業課総括主幹 奥会津金山大自然に管理をお願いしている「フリーズドライ」の利用の部分です。整備して以来、皆さん方から「十分な活用がされていないのではないかと。使用料金が安いのではないかと」というご指摘を受け、支援をする必要があると判断し、28年度から、フリーズドライを利用した加工品の商品開発に向けて、一部助成することになりました。28年度の実績は2人ほど利用されて、フリーズドライを利用した商品

開発に取り組んでいます。

道路を挟んで 同じ施設 効率的なの

問 観光情報センター運営480万(委託料)、金山町観光物産協会800万円(補助金)。会津川口駅の中に観光情報センターがあり、道路を挟んだ目の前に観光物産協会がある。これをわざわざお金をかけて、別々の団体に委託する意味が財政上必要なのかどうか。費用対効果、効率化から考えて、分けて委託する効果について伺います。

答 産業課長 駅構内にあります観光情報センターはJR只見線川口駅の玄関ということで、観光案内や、お客さんへのおもてなしといった部分での委託です。道路を挟んだ金山町観光物産協会についても同じような事業と、町のイベント協力と、もろもろの事業があります。目的として同じような業務がありますが、委託料と補助金

という形でお願いする予定です。

問 一つにして、力をあわせ町の観光のために取り組むべきだと思うが。

答 産業課長 事業内容も重なる部分もありますので、29年度1年間ある程度やっている中で、どういった形がいいのかを検討しながら、次年度の予算へ反映させたい。

無料化で スクールバスの 委託料が増加

問 スクールバス運転業務869万8000円。これは、例年の予算措置



▲下校時にバスを利用する中学生

答 教育次長 町営バスの試験運行が6月から始まります。現在、児童・生徒の帰りのバスについては町営バスを利用しています。今回の町営バスの周遊の試行に伴い時間が合わなくなるので、スクールバスを新たに動かさなければならなくなりました。その部分を考慮した金額で増額になっています。

特別会計 (議案審議)

▼町営バス会計

無料にすると 他のバスに 影響が出ないのか

問 委託料2000万円、6月から3台という説明だったが、委託先の見通しは現在どんな状態なのか。

から比べると、非常に大きな伸びがある。スクールバスの運行の形態が変わってきているのか、それとも町営バス試験運行による変更も伴うのか。

答 教育次長 町営バスの試験運行が6月から始まります。現在、児童・生徒の帰りのバスについては町営バスを利用しています。今回の町営バスの周遊の試行に伴い時間が合わなくなるので、スクールバスを新たに動かさなければならなくなりました。その部分を考慮した金額で増額になっています。

答 総務課長 町内業者に公募を行い、進めていきたいと考えています。

問 試験運行に対して無料運行とする理由を教えてください。

答 総務課長 一番は無料として皆さんに多く乗っていただけるといことが主です。

問 無料運行をしている間に県の町営バスへの補助金はどう変わりますか。

答 総務課長 無料運行の補助はありません。

問 無料運行となると、今JR只見線の開通に向けて全員で取り組んでいるところですが、誰もJRバスに乗らなくなってしまうのではないかと、JRの

利用促進と言いつつ客を奪ってしまうのではないかと懸念されます。さらに、大芦線(会津バス)については、ただ補助金を出して誰も乗らない状況になってしまっているのでは。

答 総務課長 無料によるJR代行バスの関係ですが、将来的にJRの鉄道の復旧を目指している状況から、利便性を考えた路線として設定しています。同じく、大芦線についても、時間的には競合しないよう、また、せせらぎ荘等の利用ができれば運行を考えています。

問 無料運行をしている間に県の町営バスへの補助金はどう変わりますか。

答 総務課長 無料運行の補助はありません。

▼川口地区の下水道

未加入者多く 収支が取れない

問 なぜ、80戸(一般世帯)の加入見込みか。

答 建設課長 設立時の試算で、約70から80戸の加入があれば収支とんとんになるという考えでした。

問 現在の加入者、56戸305人。未加入の最大の理由は何か。

答 建設課長 一番が経済的な理由だと考えています。それから、単独浄化槽が14基、合併浄化槽が2基、既に設置している家がありますので、同じことにお金をかけられないという理由もあります。

問 29年度に3戸加入で59戸。非常に町の持ち出し自体も大きくなると思います。加入戸数を増やすことは大切だと思います。

答 建設課長 よく検討して事業を進めます。

条例(議案審議)

「いじめ」があったのか

ありません

問 金山町教育委員会にこの間、「いじめの問題」で報告があったのか。

答 教育次長 中学校に「いじめ問題対策協議会」を設置しています。中学校、小学校でも、「いじめ対策委員会」で色々な問題について対応し

ています。月に1回、教育委員会に報告があり、それを県に報告するシステムになっています。この数年間にわたって、「いじめ」については報告が上がってきていません。

■ 議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
 ※賛成「○」 反対「×」

件 名	議決 結果	栗城 康太郎	青柳 ヨシ子	加藤 賢享	黒川 廣志	奥 高伸	横田 正敏	高橋 信彦	五ノ井 義一	馬場 清次
■ 第1回定例会（3月定例会） 平成29年3月開催										
専決処分に関する承認について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町町営バス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町只見川豪雨災害復興基金条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町課設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町奨学資金貸与条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町在宅福祉手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町よこたデイサービスセンター設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町老人福祉センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町定住促進住宅条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辺地総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町副町長の選任に関する同意について	可決	無記名投票により採決（賛成8票・反対1票）								

件名	議決結果	栗城康太郎	青柳ヨシ子	加藤賢享	黒川廣志	奥高伸	横田正敏	高橋信彦	五ノ井義一	馬場清次
金山町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意について	可決	無記名投票により採決（賛成 9 票・反対 0 票）								
■ 陳 情（3 月定例会で採択されました）										
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 議員提出議案（3 月定例会で可決された意見書を関係機関に送付しました）										
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町議会委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
J R 只見線の早期全線復旧を求める意見書の提出について（知事に提出。概要下段に記載）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 報 告（3 月定例会で報告されました）										
専決処分に関する報告について（金山町統合簡易水道事業太郎布ポンプ場築造工事の変更契約）										

人 事

▼副町長

副町長に、仁井田 聡（にいた さとる）氏
（福島県から派遣・43歳）を選任することに
同意しました。任期は4月1日から4年間で
す。

▼固定資産評価審査委員

固定資産評価審査委員に、横田 正男さん（上
横田・65歳）を再任することに同意しました。
任期は3月25日から3年間です。

J R 只見線の早期全線復旧を 求める意見書

福島県 J R 只見線復興推進会議は、総意として上下分離方式により只見線を鉄道で復旧させることとし、併せて奥会津振興の実効ある計画を策定し、沿線地域、全会津の振興をはかっていくことを決定しました。この経過については、平成29年2月15日日本町議会全員協議会で町から説明を受けたところです。

J R 只見線は奥会津地方の住民の足として欠かすことができない路線です。また、風光明媚な沿線は、観光路線として重要な役割を果たすものです。よって福島県は、J R 只見線の早期全線復旧に向け、下記の措置をされるよう強く要請いたします。

記

- 1、国に対して鉄道軌道整備法の改正など法整備等を早急に実現させ、国の財政支援を可能にするよう働きかけること。
- 2、J R 只見線の復旧財源及び、仮に上下分離方式により復旧した場合発生する運営経費について、市町村の負担軽減を図るよう支援策を講じること。

福島県知事 内堀 雅雄 様

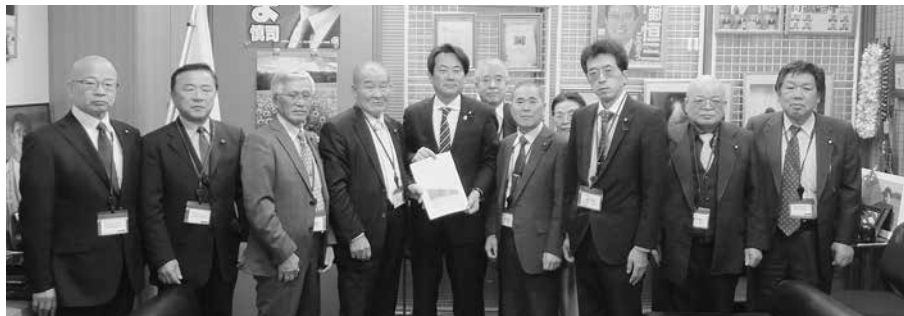
只見線の早期全線復旧 本名バイパス整備促進 只見川河川整備の早期実施

3月23、24日に衆参議員会館（東京都千代田区永田町）等を訪ね、国会議員へ「只見線早期全線復旧等」の要望活動を実施しました。



▲菅家一郎 衆議院議員と協議の様子

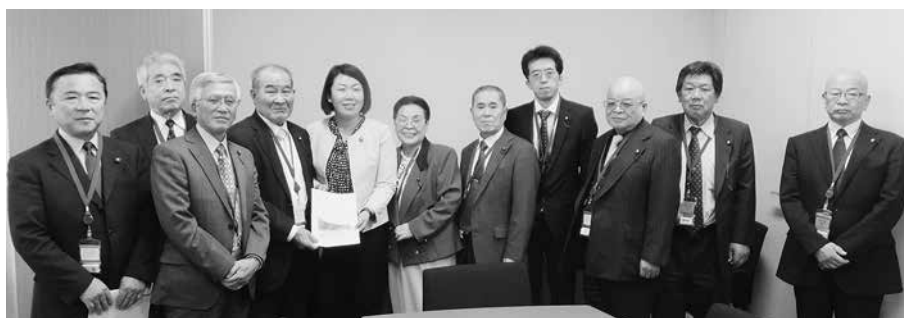
国会議員へ要望



▶小熊慎司 衆議院議員に
要望



▶増子輝彦 参議院議員に
要望



▶岩淵 友 参議院議員に
要望

■要望先国会議員 ▲衆議院議員

小熊 慎司氏 ※
菅家 一郎氏

亀岡 偉民氏
玄葉光一郎氏
根本 匠氏
金子 恵美氏
吉野 正芳氏
真山 祐一氏

▼参議院議員

増子 輝彦氏
森 まさこ氏
佐藤 正久氏
若松 謙維氏
山口 和之氏
岩淵 友氏
佐藤 信秋氏 ※

※赤字ローカル線の
災害復旧等を支
援する議員連盟
会長

佐藤 信秋氏
事務局長
菅家 一郎氏

■ 只見線の早期全線復旧の要望（抜粋）



▲中川地区を走る「只見線」

当地方にとりましてJR只見線は、通学・通勤・通院をはじめとして、近隣市町村を結ぶ地域公共交通の要であると同時に、福島県、新潟県、そして首都圏を結ぶ重要な交通手段であります。特に、福島県立川口高等学校、只見高等学校にとりましては、多くの生徒たちが通学に欠かすことが出来ない生命線となるものであります。

福島県と会津地方17市町村の首長等で構成される「福島県JR只見線復興推進会議」では、総意として「上下分離方式による只見線復旧」を取りまとめ、平成29年2月15日に当議会も説明を受けたところです。

つきましては、一日も早いJR只見線全線復旧を引き続き要望すると共に、JR只見線の運休区間を上下分離方式により復旧するようになった場合においては、少子高齢化が急速に進んでいる当町の財源確保が懸念されることから、国としての支援を要望すると共に関係機関へのご配慮を賜りますよう切望いたします。

■ 一般国道252号本名バイパス整備促進の要望



工事に着手いただき感謝申し上げます。

今年度は、トンネル工事が始まると聞いております。

完成までには多くの「時間」と「事業費」が必要です。

一般国道252号は奥会津地域住民の「命の道路」です。住民が安全に通行できるように、事業の早期完成にご尽力くださるよう要望いたします。

◀只見川橋梁（219m）の橋脚と、霧来沢橋（161m）工事中。
トンネル（1,400m）は、29年度着工予定

■ 只見川河川整備の早期実施の要望



▲上横田地区（写真右側は災害後、復旧した護岸）
写真左側は、29年度工事が行われる

平成23年7月の新潟・福島豪雨災害から5年8カ月が経過しました。一昨年「只見川圏域河川整備計画の変更」が認可され2年が経過しました。しかし、事業が動き出した様子が感じられません。緊急を要する「狭窄部の拡幅」ですら着工されておられません。

只見川沿いの住民は、融雪期を迎え大変不安な日々をおくっております。早期完成が望まれます。

住民の「安全・安心な生活」のために河川整備に必要な財源確保に特段のご配慮をお願いいたします。



区長会（委嘱状交付）の様子
「1年間よろしくお願いします」

五ノ井義一議員の 一般質問



『町から指定管理（スキー場）と委託（除雪業務）を受けている事業所の事故について』 機会あるごとに指導していく

問 町から指定管理（スキー場）と委託（除雪業務）を受けている事業所の事故について伺います。平成28年9月20日のスキー場の件。平成29年2月14日の小栗山生活体験館の件。

答 町長 9月の事故は、スキー場中段のグレンデの草刈り作業中に発生しました。通常は2人で作業を行うところ、1名のみで

草刈り作業を実施している際に、誤って乗用草刈り機から転落し、草刈り機に足を挟まれた事故です。けがの程度は左足骨折の重傷で、手術後約2カ月間の加療が必要との診断を受

けた。現在は自宅療養中です。2月の事故は、小栗山の生活体験館の除雪作業中に発生しました。3名体制で、玄関屋根の除雪を行いましたが、一部が凍っていたため、その部分を残して軒

『各行政区長の業務軽減について』

状況に合わせ対応して行きたい

問 区長業務の中に、寄附金と募金の集金業務もあると思いますが、過去5年間の金山町における赤い羽根共同募金の額を教えてください。赤い羽根共同募金を活用した事例は町内にあるのかも伺います。

答 町長 平成23年度が59万円で、年々少なくなっています。今年度は50万円弱です。赤い羽根共同募金の町内への配分実績は前年度の実績に同じ配分されます。24年度が33万円で、今年度は、27年度の募金額の

6割（約30万円）の配分がありました。この全額を社会福祉協議会で実施している地域ふれあい事業、福祉の集い、ボランティア協力校助成金に充当しています。

問 例えば地域ふれあい事業では、配分額は、どの様に利用されていますか。

答 住民課長 高齢者等世帯に対する除雪の支援事業、高齢者等を対象にしたサロン事業などを実施している地区に配分されます。

問 行政区長の報酬の中には緑の羽募金、赤い羽根共同募金、歳末助け合い運動の募金、そして日本赤十字社の社費、社会福祉協議会の会費の集金業務等は含まれているのか教えてください。

答 総務課長 区長報酬の中には含まれていません。

問 募金や寄附金の集金は、他の団体の仕事ということみたいですが、集金のことなども含め、戸数の減少や高齢化率の進む当金山町の30行政区の区長の業務軽減を、これから視野に入れた行政の執行が当然

必要だと思えますが。

答 町長 区長の仕事は多岐にわたり、本当にご苦労だと思っています。できる限り、町としてもあらゆることに對して支援をしていかなければいけないと思っていますが、何分にも手薄なものですから、思うようにいかないのが実態です。ただ、行政区そのものが立ち行かなくなると、事業案が出てくると考えられますのでその状況に合わせた対応をしていかなければならないと思っています。



4月21日から運行が始まった
「特急リパティ会津」



高橋信彦議員の 一般質問

『交通網の整備について』

進めていきたい

問 東武鉄道による新型特急（リパティ）の会津田島駅乗り入れや、JR只見線再開通の動きに対し昨年12月、会津田島駅から会津川口駅まで、バスによる二次交通網整備について問うてきたが、その後関係機関との協議はどうなっているのか伺う。

答 町長 昭和村長と、このリパティのお客さんをどうして引っ張ってこられるかと、ぜひとも昭和村と金山町で共同して運行しようという話をしたところ、昭和村長も大変乗り気でありました。今、昭和村で実際にやっていますから、それを金山町まで引っ張ってくることはそんなに難しいことではないと思います。あとは費用の負担の問題だと思っていますので、何とかして進めているのかと。

問 田島駅から舟鼻近くまでの集落の方も、仮に乗っていたらいいような、3町村合同での運行も、視野に入れたほうがいいかと思

答 町長 単なるバス路

線をつくって、田島駅から川口駅まで連れてくるというだけでは、大した効果は出ないと思います。交流人口の拡大には、どうしても受け皿づくりが必要で

す。金山町のどこに行ったらより楽しめるのか、そういう場をつくる必要があります。今の状況だと、金山町につれてきても、果たしてどこに行つて、どうい

うことが、中々難しいと考えます。ある程度の観光コースづくりをやっているかないと、単なるリパティが来たからそれをこっちまでお客さんを連れてくるのだというだけでは、やはり飽きられてしまうと思いますので、その辺のことも十分踏まえた上で進めていかなければと思っています。

『有害鳥獣対策について』

速やかに検討する

問 有害鳥獣による被害は年々増加傾向にあるが、昨年頃よりイノシシの目撃情報や、イノシシによると思われる被害も耳にする。イノシシの脅威は、作物被害は勿論であるが、その旺盛な繁殖力であると言われている。出来る限り早期に減数対策に取り

組むべきと考えますが、考

討しながら、29年度何とか被害を防止するような対策をとりたいと思います。

ひとつも対策を立てていただきたいと思っていますので、よろしく願います。

答 産業課総括主幹 昨年からイノシシの被害が見受けられるようになってい

ますので、29年度からの被害について、大変懸念しているところです。鳥獣被害防止対策協議会のメンバーと対策について検

討しながら、29年度何とか被害を防止するような対策をとりたいと思います。

毛が非常に硬いので、電気線が鼻に当たらないと中々効果もないのだということも聞きますので、よく協議の上、爆発的な繁殖とならないうちに、ぜひ



地元産品の品揃えが急がれる「道の駅」

奥高伸議員の 一般質問



『道の駅の充実を』

差別化が重要と考える

問 平成25年町づくりの重点事業の一つとして「道の駅整備事業」が実施され間もなく4年となる。町の顔として農業・観光振興の核として多くの期待の中でスタートした道の駅ではあるが、生産者・利用者からは厳しい意見も多い。「道の駅奥会津かねやま」の現状について伺う。

答 町長 平成27年度入り込み客数は約12万人、売上額は食堂部門が約3700万円、売店部門が約4400万円、合計で約8100万円の売上額です。順調に増加していましたが、今年度は若干前年度より減少する見込みです。

問① 道の駅奥会津かねやまの利用状況は。

答 町長 平成27年度の農業活性化事業の現状は。農産物販売に係る登録農家数は55戸で、約630万円の売り上げです。食堂（平成27度）では、当町産のそば、年間約6700kg、米（大源流米）は1700kg消費しています。地域農業の活性化という点では、

問② 道の駅を核とした

食堂部門で地産地消の観点から、地元産のそばや米を利用し、消費も伸びていますが、地元農産物の販売は、出荷農家が少ないことや野菜の種類も少ないことから、展示販売スペースに十分な農作物が並ばない状況となっています。

問③ 道の駅を観光振興

の拠点として充実を図る取組みは。

答 町長 ここでしか食べられない物、ここでしか買えない物、金山町でしか体験できないものなど、他の道の駅と差別化を図ることが重要であり、今後、関係団体と一緒に、今後、検討を進めていきます。

『2025年問題をどう考える』

金山ならではの福祉を進めたい

問 日本は2025年には「団塊の世代」と言われる人達が75歳を超えて国民の5人に一人が後期高齢者となり医療や介護の必要となる人が急増し、現行の社会保障制度が行き詰る恐れがあり国としても自治体においても社会保障制度の見直しを迫られる事態になると言われている。日本の2025年問題は我が町ではすでに

到来しており、より厳しくなる社会保障環境に対する、国に先駆けた対策が必要と思うが考えは。

答 町長 当町では4人に1人の方が75歳以上の後期高齢者となっており、現状においても、要介護状態になっても住みながら地域で自分らしく生活できるような金山町にあった取り組みが重要と考えています。医療について

は、町診療所を中心としながらも、広域連携を含めた検討が必要と考えます。介護に関しては、かねやま福祉会、社会福祉協議会、グループホームとの連携はもとより、地域包括支援センターの介護専門員、保健師、居宅介護支援事業所のケアマネージャー、社会福祉協議会のホームヘルパー、町保健師、看護師で組織する地域ケア会議にお

いて、介護予防の検討を行っています。さらに、生活支援コーディネーターを中心に、各地域における問題点、地域資源の掘り起しを行い、地域の方々と一体となった生活支援体制の構築も図っているところであり、こうした様々な取り組みによって、金山町ならではの福祉政策を推進していきたいと考えています。



効率的な運営が望まれる「町所有バス」



馬場清次議員の 一般質問

『交通体系の見直しについて』

6月から試験運行を実施したい

問 本年度重点事業の一つに町営バスの試験運行の計画があります。町営バスの試験運行に際しスクールバスの利用制限、乗合タクシーの運行等の課題について検討内容経過について伺う。

問① 交通体系の現状と課題については。

答 町長 スクールバスについては、学校の始業時

間、終業時間に合わせる必要があり、部活動や学校行事の時間に合わせた柔軟な運行も求められることから、町営バスとの一本化はせず、独立した運行が適当との結論に至りました。乗り合いタクシーについては、ルート内であれば玄関先から目的地まで、乗客の都合に合わせた運行が

可能であることから、特に高齢者にとつて極めて有用性の高い交通手段として定着しているため、さらなる充実を図りながら存続させていく必要があると考えました。なお、只見線代行バスについては、只見線の鉄路での全線復旧を目指していること、会津バスについては、昭和村に

とつて不可欠な生活路線となつてることから、今回の検討には含めませんでした。以上のような状況から、住民の皆さんの福祉の向上と利便性を基本に、観光客の2次交通にも対応できる町営バスの運行が必要と考えました。

答 町長 新しい運行表により、6月から試験運行を行いたいと考えています。無料で運行します。それから年中無休、これもやらなければと思つています。この期間中に町民の皆さんから幅広くご意見を頂戴し、より良い公共交通体系の構築につなげていきたいと考えています。

『豪雨災害復旧の現状と町づくりは』

着実に進めていく

問 我が町が大きな被害となつた平成23年の豪雨災害、河川整備計画が決定され2年が経過しました。復旧の現状と振興策について伺う。

問① 只見線復旧の現状と振興策は。

答 町長 只見線復興推進会議が2月9日に行われ、鉄道復旧に関する確認書(案)を協議し、出席者

の総意として当該案を承認しました。地域振興策については、今年1月30日に県や沿線7市町、奥会津振興センター、有識者などから構成される只見線利活用プロジェクトチームが設置され、平成29年度中に只見線の利活用計画を策定します。当該計画策定後に関係自治体が一丸となつて利活用事業を進めて

いきます。一方、金山町を観光の目的地として多くの観光客に只見線を利用して来ていただくためには、観光や宿泊の「受け皿づくり」が重要と考えますので、町独自の事業として、受け皿づくりを着実に実施したいと考えています。

問② 河川整備計画等の安全対策進捗は。

答 町長 29年度町最初の工事として土倉地区の護岸工事に着手すると聞いています。また、町の重点要望である中西部地区の開削工事については、調査測量業務が完了し、設計業務が発注されました。町としては、一日でも早く工事に着手できるよう、地区や地権者との交渉などについて、県と一体となつて事業を進める考えです。

『福祉灯油の実現を』

急騰したら考える



青柳ヨシ子議員の 一般質問

問 一人一千万円の福祉灯油の実現をお願いしたい。

答 町長 昨年4月の灯油価格は1リッター63円（町単価契約）、12月は84円です。21円値上がりしました。その後は、この価格で推移しているとい

うことで、価格は安定していますので、現在のところ福祉灯油を実施する考えはありません。将来、灯油が急騰するといった特別

な状況になった場合には、検討しなければならぬと認識していますので、ご理解をいただきたいと思っています。

問 昨年の私の6月議会の質問に対しては、来年の4月には考えられると言われたのです。12月議会の質問に対しては、急騰したら考

えるということだったのです。皆さんにしては、63円が84円になっても大した変りはないというお考えかもしれませんが、本当にわずかな年金で暮らし

ている、それこそ月に四、五万円の年金でやっと生活している者にとつては、この21円の値上がりとい

うのは、本当に痛いのです。ですから、何とかこの福祉灯油を実現して欲しいと思

います。昨年の12月にお聞きしたときは、対象者は738人ということでした。この2000人ちよつとの金山町で、738人の方が対象であるというこ

現していただきたいと思

答 住民課長 確かに昨年4月から12月までは、町の灯油価格の単価契約ですと、21円は値上がりして

いるということ、1リッター21円については、決して安くはないと思います。ですが、町としては、町民全体の方の健康寿命を延ばしましょう、健康に少しでもなってもらいましょ

の地域での生活支援事業を充実していきたいとい

うことで、町民の安心・安全を図っていく考えです。

問 私は、議員になってからずっとこの問題を取り上げていますので、行く先々で皆さんに言われるんです。「灯油の無料の1万円のあれは、いつになつたら実現するんだろうね」ということをよく言われます。皆さん、本当に期待して待っておられますので、ぜひとも考えていただきたいと思っています。

『JR只見線について』

町民のご意見を聞き検討していく

問 地域住民の声をよく聞いて進めるべき。

答 町長 これまで只見線の問題については、地域住民の代表である町議会議員の皆さんを始め、様々な町民の皆さんからご意

見を伺いながら判断をしてきました。上下分離方式により鉄道で復旧させる方針についても、費用負担の問題を除けば、鉄道復旧を求める意見が多かったこと、その費用負担の問題

についても、過疎債の活用により、町の実質的な負担を大幅に軽減できる見通しが立つたことから、町の将来を展望する上で、只見線を鉄路でつないでおくことは不可欠であると判

断をしました。今後とも只見線の利活用方法について、町民の皆さんからのご意見をお聞きしながら、只見線全線の再開通を見据えて、より具体的に検討して

いきたいと考えています。

今年の冬の灯油価格は、どうなるだろうか





復旧が急がれる鉄道施設
会津横田駅（平成28年12月7日撮影）



黒川廣志議員の 一般質問

『只見線の復旧について！』

着実に進めたい

他事業に支障はないのか。

問 町長 年間3970万円が充当限度額（ソフト分）となっており、十分に枠内におさまると考えています。只見線を存続させることは町にとって重要な政策ですから、優先的に充当していく考えです。

問⑥ 大規模な災害が発生した場合、地元負担はないのか。

答 町長 関係市町村の負担が過大とならないよう、県に対して要望したいと考えています。

問⑦ 利活用の具体策は。

答 町長 県や関係市町村と連携した利活用の取り組みを実施したいと考えています。また、観光や宿泊の受け皿づくりも着実に実施したいと考えています。

問⑤ 災害等緊急時の対応に安全上問題ないのか。

答 町長 県が、車両の運行を委託するJR東日本としっかり協議をしていくと考えますので、安全上の問題はないと考えています。

問④ 上下分離による地元負担1303万円は「過疎債充当」とのことだが、

と伺っています。

問③ 住民に説明しないのか。

答 町長 確認書（案）の内容は専門性が高く、町の将来像や財政見通しなど様々な要件を総合的に勘案しなければ判断のつかない事案であることから、町民の代表者であり町政に精通した町議会議員の皆さんと議論することが適切であると考えます。

問② 「特定空家の除去」法律に基づき諸手続きを行ったのか。

答 町長 特定空家等に該当するかどうかは、今後、平成29年度に空家協議会を開催して具体的に判定

していく予定です。

問③ 緊急度、優先度は何を基準に判断したのか。

答 町長 29年度に行う空家等対策協議会で、周辺地区への影響、緊急性等を総合的に判断します。

問 上下分離方式の復旧で県と関係市町村で確認書を取交し、JRと交渉すると聞くが、以下伺う。
問① 復旧費の更なる地元負担はないのか。

答 町長 知事は、「県自身が覚悟を持って取り組む」と発言していることから、確認書（案）では、「県は、市町村の負担軽減に最大限努めるものとする」との表現ではありますが、不

足額33億円については県が負担し地元負担はないものと考えています。

問② 鉄道軌道整備法の改正は。

答 町長 議員連盟の事務局長を務める菅家一郎議員から、熊本地震や北海道での台風被害など全国的に災害が頻発する中で、全国のローカル線の復旧にも幅広く対応できるように法案の修正を行っているため、昨年の臨時国会での提出には至らず、本国会での提出を目指している

と伺っています。

問③ 住民に説明しないのか。

答 町長 確認書（案）の内容は専門性が高く、町の将来像や財政見通しなど様々な要件を総合的に勘案しなければ判断のつかない事案であることから、町民の代表者であり町政に精通した町議会議員の皆さんと議論することが適切であると考えます。

問④ 上下分離による地元負担1303万円は「過疎債充当」とのことだが、

と伺っています。

『公平で透明な空家対策を！』

空家協議会で決めていく

問 空家対策事業に多額の予算が計上されている。

「緊急度、優先度を判断し、取組む」としているが。

問① 法律では計画を策定し、協議会設置となっているが、計画が未策定なの

に、なぜ協議会設置を先行したのか。

答 町長 空家特措法の趣旨に沿って、町では空家等対策計画を作成するため、あらかじめ空家協議会を設置しました。



元気でまっせ体操
玉梨地区での「いきいき生活倶楽部」

栗城康太郎議員の 一般質問



『高齢者の介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業』について』 この地域にあった体制を構築して行きたい

問① これまでの介護予防事業と新しい介護予防・日常生活支援総合事業の違いと概要について。
答 町長 今まで介護予防給付であった訪問型介護・通所介護を訪問型サービス、通所型サービスに移行しています。大きな変更部分は、要介護認定を受けなければ利用できなかった介護予防サービスを、地域包括支援センターが実

施する基本チェックリストを用いて事業対象者として該当すれば、訪問型サービス、通所型サービスを利用することができま。2025年には団塊の世代と言われる全ての方が75歳を迎えられます。できる限り介護予防を推進し、住みなれた地域で尊厳を持って自分らしい生活を送ることができる社会を

実現できるよう、今後とも取り組んでいきたいと考えています。
問② 在宅医療・介護連携推進事業と認知症対策推進事業、生活支援体制整備事業の現在までの取り組みは。
答 町長 在宅医療介護連携推進事業については、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住

みなれた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療、介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療介護を提供することが求められており、その一環として、今年度、県と連携して退院調整ルールが策定されました。また、地域の医療と介護サービス資源の把握を記載し

た冊子を策定しています。認知症総合支援事業については、初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の設置を平成29年度の早い時期に予定しています。生活支援体制整備事業については、昨年6月に生活支援コーディネーターを配置し、29年度はさらに事業の充実に向けて取り組んでいきます。

『交流人口の増加対策と空き家対策の連携による雇用の創出』について』 国の動きを注視していく

問① 交流人口を増加させるための施策について、ロードマップはできているか。
答 町長 具体的なものはできていません。町では、振興計画基本計画や総合戦略において、沼沢湖温泉、天然炭酸水、自然環境などの「地域資源を生かしたまちづくり」を掲げてい

ます。事業実施については、振興計画の実施計画に基づき振興計画審議会に諮った上で予算化しながら毎年進めているのが現状であり、来年度当初予算にも交流人口の増加を目指した事業計上をしています。

問② 交流人口増加の経済効果について試算しているか。
答 町長 町ではそうした試算はしていませんが、観光施設である道の駅やせせらぎ荘、フェアリーランドかねやまスキー場の入り込み客数と売上額について、また、スキー大会や沼沢湖水まつりなどのイベントの町内宿泊施設への宿泊者数などについ

て調査し、数字を把握しています。
問③ 空き家を活用した住宅宿泊事業を展開する考えはあるか。
答 町長 現在、国では民泊営業に関する法律案を検討しています。国の動きを注視して、町として研究していききたいと考えています。



整備が待ち遠しい
大塩グラウンド整備予定図



横田正敏議員の 一般質問

『グラウンドゴルフ』の環境整備を』

良好なプレー環境整備に努める

問 グラウンドゴルフは、全国的に年々盛んになっており、当町でも盛んで、金山グラウンドゴルフ会員数も174名と増加している。誰でも気軽にプレーができ、「適度な体力の維持向上につながる」と。頭脳に適度な刺激をあたえながら、集中力の維持増進につながる。ルールが難しくなく、勝てる

チャンスが誰にでもあり、高齢者の生きがいとなること」といった特徴があげられ、高齢社会を迎えますますブームになることは間違いないと思われる。最良の条件で練習や大会ができればと思います。が、教育長の考えを伺う。

答 教育長 高齢者の方々に最良の条件で練習や試合を楽しんでいただくよう、コートに芝生を張り、管理棟のトイレ数を増やし段差をなくすなどの改良をし、大塩グラウンドをグラウンドゴルフ専用のコートとして整備する計画を進めています。芝生を張ればその管理は大変になりますが、いつも良好な状態でプレーしていただけるよう整備に努め、町内ばかりでなく町外からもグラウンドゴルフ愛好者の方に来ていただき、

問 さらには大会等も開催できるコースとしていきたくと考えています。

答 大塩グラウンド管理賃金、芝刈り賃金の確保を。

問 町長 従来までのポランティアという考えでは結局だめになります。適切な対価を払いながら維持管理に努めていただく、それが仕事場づくりにもつながると思います。

答 教育長 毎日使っている人が、「ここがだめだよ、あそこがだめだよ」ということがあると思いますので、そういったところを教育委員会と連携をとりつつ、常に目を光らせていきたいと思っています。また、平成30年度には乗用芝刈り機の購入も計画しています。しっかりと管理を行っていきます。

『子ども議会』の開催を』

大変有効な取り組みだと考える

問 町では「子どもは地域の宝」のもと、地域一体型ふるさと教育の充実を図っている。子どもたちは、自分たちの地域を知り、地域への愛着が増すことにより、子どもたちが進学や就職を迎えたときに、地域に留まろうとする意向が強くなると考える。そこで、

答 教育長 子ども議会 子どもたちが「子ども議員」となり、町づくりについて検討し「もったいないたほうが良い」や「こういう政策をして欲しい」などと、子ども目線で提案する仕組みである「子ども議会」を開催する考えはないか伺う。

子どもたちが「子ども議員」となり、町づくりについて検討し「もったいないたほうが良い」や「こういう政策をして欲しい」などと、子ども目線で提案する仕組みである「子ども議会」を開催する考えはないか伺う。

については取り組んでいる町村も多く、子供たちが地域について関心を持ち、地域の将来を考え、地域に愛着を深める上で大変有効な取り組みであると考えられます。また、選挙権が18歳に引き下げられたこともあり、議会の制度を理解し政治に興味、関心を持てていきたいと思います。



「霧幻峽に思う」

厳しい冬が過ぎ、幻想的な只見川の季節到来！

五十年前の災害と廃村という大きな痛手乗り越えて、昔から伝わる霧幻峽の渡しを復活させた。しかし、直後新潟・福島豪雨災害という更なる試練にも見舞われた。懸命の努力の結果、昨年には大型観光バスが多数来場し、今年のゴールデンウィークからの予約はすでに二十台にも達しているのだという。日本でも珍しい手こぎの渡し舟に乗舟し、霧幻峽に渡る観光客は千人をも突破するだろうと期待する。しかしながら地区民は、表情がどこか曇っている。聞いてみると、せっかく来ていただいても、霧幻峽には案内標識も説明板も何も無い！又、地区民が高齢になり、肝心の舟頭さんがいない、という。今年も地区外からも舟頭さんを養成して、対処したいと話していた。これは一つの雇用対策といえるであろう。



三更地区に限らず地区民が地区の振興のために努力し、懸命にがんばっている取り組みに対しては、町として、又議会としても支援や協力をし、自らも積極的に参画し、育成を強化することこそが、本来の地域振興策ではないだろうか。

(加藤 賢享)

電源開発(株)東日本支店長に要望 滝ダム浚渫事業の安全対策

3月24日電源開発(株)東日本支店(埼玉県川越市)にて、山田秀司支店長に、要望書を提出しました。土砂浚渫用台船等の流出防止、堆積土砂の速やかな搬出等を金山町議会として意見要望をしました。会場には、田子倉電力所(只見町)の吉村光夫所長も同席し町議員の質問に対応しました。その後、滝発電所や田子倉発電所などの発電制御をする「東地域制御所」を視察しました。



要望する五ノ井議長

ごあんない

次回の定例会は、6月9日ごろ開会の予定です。

一般質問は6月12日ごろとなります。

お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井清二
〔編集委員〕 委員長 馬場 清次
副委員長 黒川 廣志
委員 栗城 康太郎
青柳 ヨシ子
加藤 賢享
次回、金山議会日より
第198号は、8月上旬
ごろ発行の予定です。